臺灣日日新報 夕刊 昭和十八年七月十五日 火曜日 第一万四千八百五十二號 A (一)

對獨戰遂行に限り
英ソ軍事協定成立
批准を經ず卽時發效

【ロンドン十三日發同盟至急報】クリップス英ソ兩大使及びモロトフ外務人民委員は十二日夜モスクワに於て英ソ共同宣言に關する協定が調印された旨、十三日正午發表したが右協定は次の三項より成つてゐる

一、英ソ兩國政府は現在進行中の對獨戰爭に關して相互に一切あゆる種類の援助並に支持を與へるものとする

二、英ソ兩國政府は共同相互の同意なくして休戰又は平和條約に關する交渉を行ひ又はこれを締結せざる事を約束する

三、本協定は批准の日より卽時發效するものとす

單獨休戰講和禁止
協定全文、議定書を發表

【ロンドン十三日發同盟至急報】英ソ兩國間の軍事協定は十二日クレムリン宮に於てソ聯邦モロトフ外務人民委員、シャポーシニコフ國防人民委員部次官、クツネツオフ空軍人民委員部次官、グヴインスキー外務人民委員部次官及び、マックアーランド中將以下連合軍使節團全員列席の下にソ聯代表モロトフ外務人民委員、英國代表クリップス大使に依つて署名せられた、右協定は次の三項より成つてゐる

一、英ソ兩國政府は共同して獨逸國に對し戰爭を繼續する事を約束する

二、兩國政府は獨逸國と單獨休戰又は講和條約を締結せざる事を約束する

三、右協定は卽時發效するものとす

英ソ軍事協定議定書

第一條 ソ、英兩國政府は現下の對獨戰爭に於ける相互の軍事的援助に關し協定する事

第二條 兩國政府は直に軍事使節團を相互に派遣する事

第三條 兩國政府は共同宣言、協定の實施に關する細部の問題を協議する事

英ソ軍事協定議定書

第一條 兩國政府は直に軍事使節團を相互に派遣する事

第二條 兩國政府は共同宣言、協定の實施に關する細部の問題を協議する事

第三條 兩國政府は現下の對獨戰爭に關し相互に援助を與へる爲め必要な物資の供給に關する協定を締結する事

第四條 兩國政府は對獨戰爭終結前に於ては獨逸國又は獨逸國と同盟關係にある國家と單獨休戰又は講和條約を締結せざる事を約束する

第五條 兩國政府は戰後に於ても相互に協力し且つ他の國家と協力して歐洲に於ける平和組織の確立に協力する事を約束する

第六條 兩國政府は戰後に於ても相互に經濟的援助を與へる事を約束する

第七條 兩國政府は戰後に於ても相互に經濟的關係を發展せしむる爲め必要な協定を締結する事を約束する

第八條 兩國政府は本協定が向ふ二十箇年間效力を有する事を約束する

第九條 本協定は卽時發效するものとす

米國と事前諒解濟
英ソ協定 同盟に非ず抗戰聯合

【ロンドン十三日發同盟】英ソ軍事協定の成立に關する英國政府筋の見解次の如く述べてゐる

本協定は最近ヤルタ會談に於て發表された米英ソ三國共同宣言の線に沿つて締結されたソ聯と完全な軍事的協力を確保せんとする政策を實現したものであつて、戰爭を有效に遂行することを目的とするものである、而して兩國同盟に轉化するものではない、本協定は英ソ兩國が獨逸國と單獨休戰又は講和條約を締結することを禁止するものである

また英國側は左の如く述べてゐる

一、右協定は技術的に云へば同盟ではない、それらしきものでもなく、從つて兩國は協定國に對し軍事援助の義務を負ふものではない

二、他の方面ではどうか知らないが英國は協定によつて歐洲に於ける英國の地位が强化されたとは考へてゐない

三、ソ聯は獨逸國と單獨講和を締結する意圖を有してゐるとは考へてゐない

四、英國は協定によつてソ聯の對獨戰爭遂行の決意が强化されたとは考へてゐない

五、英國は協定によつてソ聯の對獨戰爭遂行の決意が强化されたとは考へてゐない

赤軍二要衝を奪還
ソ聯發表、三戰線激戰中

【モスクワ十三日發同盟】ソ聯情報局發表=

一、十三日正午に至るまでの敵線に於ける戰鬪狀況は次の如くである

ブスク及びノヴオグラード、ヴオルインスク方面で主として激戰が行はれた

二、北西方面 獨逸軍は赤軍の反擊を加へ來つた、各所に於て赤軍は敵陣地に侵入し、數箇所の陣地を奪取した

三、西部方面 西部戰線では赤軍はスローピンスク及びオルシヤ方面に於て敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四、南西方面 南西戰線では赤軍はポルタワ、クレメンチュグ、ドニエプロペトロフスク方面に於て敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五、南方面 南方面軍はメリトポリ、ベルジヤンスク、マリウポリ方面に於て敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六、ブスク及びノヴオグラード方面 ブスク及びノヴオグラード方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七、ヴオルインスク方面 ヴオルインスク方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八、ドニエプロペトロフスク方面 ドニエプロペトロフスク方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九、ザポロージエ方面 ザポロージエ方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十、クリミア方面 クリミア方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十一、ケルチ方面 ケルチ方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十二、ノヴオロシースク方面 ノヴオロシースク方面に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十三、タマン半島 タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

三十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

四十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

五十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

六十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

七十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

八十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

九十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百二十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百三十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百四十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百五十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百六十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百七十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百八十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

百九十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十一、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十二、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十三、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十四、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十五、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十六、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十七、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十八、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百十九、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百二十、ノヴオロシースク、タマン半島 ノヴオロシースク、タマン半島に於ては赤軍は敵の抵抗を排除しつつ前進を續けた

二百二十一、ノ

早朝から内観反省
午後は聖鍬の奉仕
指導者錬成會の第二日

指導者錬成會第二日の十四日は朝から雨模様に明けたが、これに比べ風雨一層荒れ狂つた昨日の錬成日和だ、宮城遙拜の後、内觀の工夫、無言の行、内觀が終つてホツとする、朝から雨模様とあつて、午後はいつになく寒さがかかる、各錬成員は一層緊張の工夫、無言の行、内觀

記者が訪ねると
墨書　した紙が一枚自らつく、起床から正午まで「内觀黙言の行」が強制されてゐるので、誰も彼も身振り、手振りで感謝を表へる有様、昨日の感激は消えず、朝早くから無言とけ合ひ統制訓練も静まりかへつてゐる、さて今日の講師、各講師良には大物揃ひだ、午前九時から本間郁司令官、次いで午後一時から鹽野義三郎氏の講話、午後二時からはこゝ臺灣の誇の一つ臺灣神社の下に參拜、記念撮影、夫れが終つて、いよ〳〵最後のコツプにシヤベルに、修養の仕上げだ、スコツプにシヤベルに、修養の仕上げだ、スコツプにシヤベルに、修養の仕上げだ、ス

(第三種郵便物認可)　昭和十六年七月十五日　(火曜日)　臺灣日日新報　第一万四千八百五十二號　(三)

南方共榮版

物資缺乏に惱み
南洋華僑續々歸國
重慶抗戰の基搖らぐ

最近では蘭領の西部海岸地帶を始め馬來半島の各地方に亘り南洋各地の華僑に對する壓迫し南洋各地の華僑及び蘭印方面に殖民の目的を以て渡航した華僑の數は非常に多く、いづれにしても物資不足は既に内地の各都市に於ても深刻な問題であり、殊に南洋華僑の如き物資缺乏に惱んでゐる地方に於ては如何に深刻であるかは想像するに難くない。

これは南洋華僑を壓迫の大きな原因とする重慶政權の狙ひの一つであるが、重慶政權として華僑を壓迫することは決して容易なことではなく、寧ろ壓迫すればする程重慶政權の狙ひ通りになるやうなもので、重慶政權としては南洋華僑の經濟的壓迫を通じて南洋各地の經濟的攪亂を企圖してゐるものである。

【上海六日發同盟】重慶政府は英米の對日壓迫に應じ日本の南洋進出を妨害するの意味に於て南洋華僑の歸國を勸奬し、既に昨年に於ける歸國者の數は實に四九六萬人の多數に上れば昭和十三、四四年に於ける歸國者數の激増と共にこの歸國は益〻激化しつゝあるものの如くであるが、根本原因は輸入難による物資缺乏にあり、その歸國者として有爲のビジネスマンやボール紙の工業技術を學ぶべしとの政策が南洋各地方から物資不足ことに重工業部門の絶對のチャンスであり上海と南洋各地の經濟條件に十分關心があり、との觀點から歸國を奬勵するものもあるが、いづれにしても物資不足は既に内地の各都市に於ても深刻な問題であり、南洋華僑の如き物資缺乏に惱んでゐる地方に於ては如何に深刻であるかは想像するに難くない。

蘭印現地報告
共榮圏への危懼と
根强い人種的偏見

△蘭印の一般的感情

公安の維持力で「理解」以上の好感を與へたが、日蘭親善にできるかは疑問とする意見は「しかし、日本はいまオランダの植民地政策について眼をつけてゐるのではないか」と、東亞の大ブロックの指導と叫んでゐるのかと、日本の南進に對して極度の警戒を拂ひ、いわゆる「日蘭印共榮圏」については、全然信用してゐない。

△大東共榮圏の曲解

二月末に日本から派遣した親善使節團一行が歡迎されたが、多分蘭印の植民地政策の實體を知らないものと思はれる。

△三國同盟に對する感情

日獨伊の一體化していく事實に對しては、多分に不安と疑惑を抱いてゐる。

臺灣を見學
南方認識のため
若き學徒五十名
臺灣の如く日本的南方文化施設の後の下に南方各地を利用した南方認識に關し、學徒を派遣することに決定、臨東北、關西各校の二百名餘より九月初旬より約一週間臺灣に派遣する豫定であるが、學徒の選考は各學校長に一任する事になつてゐる。

蘭印現地報告
共榮圏への危懼と
根强い人種的偏見
(一)
陸軍報道部員　和田孝

【上海六日發同盟】蘭領印度政府は英米の對日壓迫に應じ日本の南進に對する警戒の意味に於て南洋華僑の歸國を勸奬し、既に昨年に於ける歸國者の數は實に四九六萬人の多數に上れば昭和十三、四四年に於ける歸國者數の激増と共にこの歸國は益〻激化しつゝあるものの如くであるが、根本原因は輸入難による物資缺乏にあり、その歸國者として有爲のビジネスマンやボール紙の工業技術を學ぶべしとの政策が南洋各地方から物資不足ことに重工業部門の絶對のチャンスであり上海と南洋各地の經濟條件に十分關心があり、との觀點から歸國を奬勵するものもあるが、いづれにしても物資不足は既に内地の各都市に於ても深刻な問題であり、南洋華僑の如き物資缺乏に惱んでゐる地方に於ては如何に深刻であるかは想像するに難くない。

これは南洋華僑を壓迫の大きな原因とする重慶政權の狙ひの一つであるが、重慶政權として華僑を壓迫することは決して容易なことではなく、寧ろ壓迫すればする程重慶政權の狙ひ通りになるやうなもので、重慶政權としては南洋華僑の經濟的壓迫を通じて南洋各地の經濟的攪亂を企圖してゐるものである。

△東共榮圏の曲解

二月末に日本から派遣した親善使節團一行が歡迎されてゐるが、多分蘭印の植民地政策の實體を知らないものと思はれる。

△大東共榮圏の曲解

二月末に日本から派遣した親善使節團一行が歡迎されてゐるが、多分蘭印の植民地政策の實體を知らないものと思はれる。

臺灣を見學
南方認識のため
若き學徒五十名
臺灣の如く日本的南方文化施設の後の下に南方各地を利用した南方認識に關し、學徒を派遣することに決定、臨東北、關西各校の二百名餘より九月初旬より約一週間臺灣に派遣する豫定であるが、學徒の選考は各學校長に一任する事になつてゐる。

△三國同盟に對する感情

日獨伊の一體化していく事實に對しては、多分に不安と疑惑を抱いてゐる。

△オランダ人の感情

公安の維持力で「理解」以上の好感を與へたが、日蘭親善にできるかは疑問とする意見は「しかし、日本はいまオランダの植民地政策について眼をつけてゐるのではないか」と、東亞の大ブロックの指導と叫んでゐるのかと、日本の南進に對して極度の警戒を拂ひ、いわゆる「日蘭印共榮圏」については、全然信用してゐない。

△大東共榮圏の曲解

二月末に日本から派遣した親善使節團一行が歡迎されてゐるが、多分蘭印の植民地政策の實體を知らないものと思はれる。

臺灣を見學
南方認識のため
若き學徒五十名
臺灣の如く日本的南方文化施設の後の下に南方各地を利用した南方認識に關し、學徒を派遣することに決定、臨東北、關西各校の二百名餘より九月初旬より約一週間臺灣に派遣する豫定であるが、學徒の選考は各學校長に一任する事になつてゐる。

嵐の敵前上陸（北海作戰）　本社特派員　染浦三郎作

商況（十四日）

株式

兜町前場況

【東京發同盟】兩證券に對する買物一服の感となり、一部新興株を除き總じて反發氣勢に乏しく、殊に大手筋の買ひ控へ氣味が強く、從つて市場は閑散裡に推移したが、後場に入り一部小口の買ひ戻しがあつて、日經平均株價は前日比二十錢高の二百四十四圓四十錢、東株指數は同じく一圓八十錢高の二百四十八圓八十錢と何れも新高値を更新、二百四十圓臺に乘せた。時期尚早の感も深いが、一應總悲觀の反動安と觀測されてゐる。

【東京十四日發同盟】兩證券に對する買物一服の感となり、一部新興株を除き總じて反發氣勢に乏しく、殊に大手筋の買ひ控へ氣味が強く、從つて市場は閑散裡に推移したが、後場に入り一部小口の買ひ戻しがあつて、日經平均株價は前日比二十錢高の二百四十四圓四十錢、東株指數は同じく一圓八十錢高の二百四十八圓八十錢と何れも新高値を更新、二百四十圓臺に乘せた。時期尚早の感も深いが、一應總悲觀の反動安と觀測されてゐる。

商況（十四日）
反發氣勢
寳物一服
兜町前場

東京短期前場
書引 高 安
日曹 五三 三七
日鋼 三二 三一
日石 五六 五二
日産 三二 三一
日窒 三二 三一
日本 三二 三一
日郵 三二 三一
日立 五七 五六
鐵管 八九 八七
鐵工 一五 一四
池貝 九九 九七
池貝新 九九 九七
東電 七七 七六
東電新 七七 七六
東鋼 八九 八七
東鋼新 八九 八七
東製 九六 九四
東製新 九六 九四
東芝 八九 八七
東芝新 八九 八七
東洋新 三二 三一
倉紡 三二 三一
倉紡新 三二 三一
帝人 一五 一四
帝人新 一五 一四
帝麻 七七 七六
帝麻新 七七 七六
大同 三二 三一
大同新 三二 三一
大阪 三二 三一
大阪新 三二 三一
大建 三二 三一
大建新 三二 三一
大新 四九 四七
大新新 四九 四七
大東 三二 三一
大東新 三二 三一
大林 三二 三一
大林新 三二 三一
大倉 三二 三一
大倉新 三二 三一
大丸 三二 三一
大丸新 三二 三一
大昭 三二 三一
大昭新 三二 三一
大正 三二 三一
大正新 三二 三一
大日 三二 三一
大日新 三二 三一
大阪 三二 三一
大阪新 三二 三一
大阪 三二 三一
大阪新 三二 三一
大阪 三二 三一
大阪

成層圏 (14)

廣津和郎作　貫太一松三畫

食卓の人々(三)

吉川さんがビールを六つのコップに注いだ。めいめいがコップを挙げて「プロジット」といった。

「うまいうまい。昔はビールをこんなにうまいものとは思はなかった。飯はなるべく何か飲んだり食ったりするとこんなにうまいものだったかなあ」と池田がいった。

「だからさういふ飯を腐れたと言ふんだ。何かが足りないと思ついらいらしたりするとビールをこんなにうまいと思ふ

臺灣日日新報　第一万四千八百五十二號　昭和十六年七月十五日（火曜日）（第二版）（明治一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣新報
本日夕刊共八頁

二億圓借款に彈力性
國府愈よ諸施策斷行
周部長歸國 けふ行政院會議

【重慶十四日發同盟】十四日朝經一ケ月振りに重慶に歸還した國民政府軍事委員會委員長蔣介石主席を中心とし三國同盟調印の成立により太平洋の新情勢に處する我が態度決定のため開かれた、國民政府と共產黨との最後の會談が續けられてゐた周恩來の重慶に於ける最高幹部會議は、十五日午前九時から軍事委員會會議室に於て開かれ、蔣主席、孔副院長、宋子文、何應欽、白崇禧、閻錫山、張治中、陳誠、朱家驊、王寵惠、張厲生、吳鐵城、陳果夫、陳立夫、徐永昌、翁文灝、張群、張嘉璈、王世杰、朱騮先、谷正綱、周恩來、董必武、王若飛、葉劍英、吳玉章、秦邦憲、林祖涵、陳紹禹、凱豐、李維漢、鄧穎超、李克農、王炳南、伍修權、張文白、王昆侖、徐冰、胡子嬰、王雪艇、邵力子、梁寒操、張道藩、郭沫若、陳銘樞、沈鈞儒、黃炎培、左舜生、章伯鈞、羅隆基、張君勱、曾琦、李璜、青年黨代表、救國會代表、無黨派人士等百數十名の軍政要人が參集した

【重慶十四日發同盟】十四日重慶に歸還した國民政府軍事委員會委員長蔣介石主席を中心とし三國同盟調印の成立により太平洋の新情勢に處する我が態度決定のため開かれた、國民政府と共產黨との最後の會談が續けられてゐた周恩來の重慶に於ける最高幹部會議は、十五日午前九時から軍事委員會會議室に於て開かれ、蔣主席、孔副院長、宋子文、何應欽、白崇禧、閻錫山、張治中、陳誠、朱家驊、王寵惠、張厲生、吳鐵城、陳果夫、陳立夫、徐永昌、翁文灝、張群、張嘉璈、王世杰、朱騮先、谷正綱、周恩來、董必武、王若飛、葉劍英、吳玉章、秦邦憲、林祖涵、陳紹禹、凱豐、李維漢、鄧穎超、李克農、王炳南、伍修權、張文白、王昆侖、徐冰、胡子嬰、王雪艇、邵力子、梁寒操、張道藩、郭沫若、陳銘樞、沈鈞儒、黃炎培、左舜生、章伯鈞、羅隆基、張君勱、曾琦、李璜、青年黨代表、救國會代表、無黨派人士等百數十名の軍政要人が參集した

周部長歸國 けふ行政院會議

青年男女を通して
訓練と增產に重點
皇民奉公會 實踐要綱通達

皇民奉公會では十四日總督府に於て各地區奉公會の總務を參集、昭和の皇民運動の根幹たる皇民奉公會の組織強化に關する實踐要綱を通達した

獨ソ戰の解剖と展望
生產增加と生活難
ソ聯計畫經濟進度
平貞藏

戰時食糧增產完遂
農業團體を動員
八月から部落別協議會

獨伊の彈力戰時教育
篠尾、岸本兩中佐歸朝談

米の歐洲介入は
文化の潰滅
氷島進駐を獨紙痛撃

レーダー聲明を
米國は想起せよ
ガイダ主筆米に警告

伊空軍猛爆撃下のトブルグ

北阿戰線トブルグを死守する英軍に對し伊軍佐藤新聞班の下に猛烈な爆撃を加へつゝある

貴發險保の貴實な的期劃
特長
1 保險初期
2 醫師定期
3 傷病金額
料金低廉
保險年齡
千代田生命

局部長會議

師範教育制度
改革試案決議
實業教育振興
議員聯盟

新音樂論
高野澈著　現格四六判上製二四〇頁　定價一圓五十錢　送料十錢

大東亞建設の地理哲學
工藤暢須著　現格四六判上製二五〇頁　定價一圓八十錢　送料十錢

身邊科學
宮里良保著　現格四六判二九〇頁　定價一圓五十錢　送料十錢

東太平洋
世界情報社著　現格四六判二九〇頁　定價一圓五十錢　送料十錢

われら今何をなしつゝありや
田村敏雄著　現格四六判二六〇頁　定價一圓六十錢　送料十錢

大日本法令出版株式會社
東京市京橋區銀座二丁目十三番地
振替東京一六四〇番・電話京橋（56）二七一九番

臺灣新報社
本日夕刊共八頁
日刊新聞
臺灣日日新報
臺灣新報
臺灣日日新報社
臺灣新報社
臺灣日日新報社
臺灣新報社
臺灣日日新報社
臺灣新報社

社說

英ソ協定と極東への影響

英、蔣軍事協定を促進するか

一

英ソ中三國間の軍事的協定によつて英ソ間に成立した英ソ關係はその後英國側の積極的努力にも拘らず、開戰以來約二ヶ年を經過した今日に於ても尚ほ英ソ間の軍事的協定と迄には發展を見ないで、而も現實は英ソ間の協定は英國の希望と期待とに反して英ソ間の單獨講和の成立を困難ならしめ、從つて又英國の對獨戰爭の遂行を困難ならしめる結果を招來するに至つたことは爭ふべからざる事實である。

英ソ協定の成立に關しては英國側に於ても從來屢々その實現に努力を傾注したことは事實であつて、英國外相イーデンは一九四二年十二月の下院に於ける演說に於て英ソ協定の成立を希望する旨を明言し、又英國の新聞論調も屢々英ソ協定の成立を促進すべきことを論じてゐたのである

光の網で魚群誘導

漁業の電化新發明「とき色集魚燈」

水産科學日本に凱歌

【東京發同盟】全國漁村の多數が出撃してゐる日本漁業に革新的な科學の光が投げられた。即ち水産講習所（農林省）の研究室で發明された「とき色集魚燈」である。漁業界にとつては一大福音であり、我が國漁業史上に一新生面を劃する發明と期待されてゐる。

【東京發同盟】全國漁村の多數が出撃してゐる日本漁業に革新的な科學の光が投げられた。即ち水産講習所（農林省）の研究室で發明された「とき色集魚燈」である。漁業界にとつては一大福音であり、我が國漁業史上に一新生面を劃する發明と期待されてゐる。

同燈で使用されてゐる「とき色」は、從來の白色光線に比べ魚群に對し非常に強い誘引力を持つことが發見されたもので、これに使用する電球は從來のものと全く變つた特殊のものである。

從來、漁業に使用されてゐる集魚燈は、白色光線が魚の眼球に對し如何なる影響を與へるかについて殆んど考へられず、ただ明るければ良く澤山あつた方がよいといふ程度に考へられてゐたに過ぎなかつた。

ところが、二月程前から水産講習所の研究室で川崎の佃漁業組合の協力を得て、鰯、鯵、鰹等の各種魚類及び烏賊等を水中に誘集する實驗を行つた結果、とき色を除き他の色光線は魚群を誘集する力が極めて微弱であり、とき色光線は他の色光線に比べ數倍乃至數十倍の誘集力を有することが發見されたの

各地綜合版

猛暑に挑む 高雄川の端艇競漕

壯烈水煙上げての待望レース 十九日海の記念日に魁け

【高雄特電】高雄市の本年の夏季水泳大会の呼物たる高雄川の端艇競漕は、愈々十九日海の記念日に魁けて挙行されることとなつた、之れは本年より従来の八月一日を七月十九日に繰上げて挙行することとなつたもので、之れに伴ひ高雄川の水泳場も十九日より開場することとなつた、尚ほ端艇競漕は午前十時より挙行、コースは上流鼓山橋より下流旭橋迄の間に設定、参加艇は十艇内外の見込である、尚ほ当日は高雄市内各所に於て種々の催しがあり、又花火の打上げ等もあつて賑ふ筈である

軍人援護展賑ふ

【高雄特電】十二日から募集開始の軍人援護会に於ては、軍人援護展覧会を開催、十二日は総督、総督夫人、二日は高雄二十六の募集者を迎へ、好評裡に終了したが、引続き十四日迄の間に前人気を呼んでゐる

落花生胡麻加工業 組合創立総会開催

【高雄特電】高雄州下に於ける落花生、胡麻油の製造の一元化を図るため、州下落花生及び胡麻加工業者は十四日午後二時より高雄市役所に於て組合創立総会を開いた

高雄州方委評議員會 方面事業の連絡と普及に盡力

【高雄特電】高雄州方面委員会は十四日午前十時から州庁会議室に於て、評議員会を開き、左の諸案を協議した

一、方面事業の連絡と普及に関する件
一、方面委員の活動に関する件
一、其の他

高雄市七月集會

【高雄特電】高雄市の高雄市を繞る山岳集會は十四日午後一時から市役所に於て、助役、大島署長以下各部課長及び区下の隣組長並に市営住宅用土の隣組長多数が参加して開かれ、市内各隣組の活動状況に関する懇談会を開いた

日赤愛婦診療 班各地で好評

【高雄特電】高雄州下の軍人援護会に於ては、軍人会館、十四日上天和、下里、金瓜石、林田の各出張所に於て、軍人遺家族の為に無料診療を行つてゐるが、好評を博してゐる、尚ほ第十五日は高雄市の旭橋たもと、第十六日は旗山郡の旗山たもとに於て診療を行ふ筈である

山岳會新高班入山

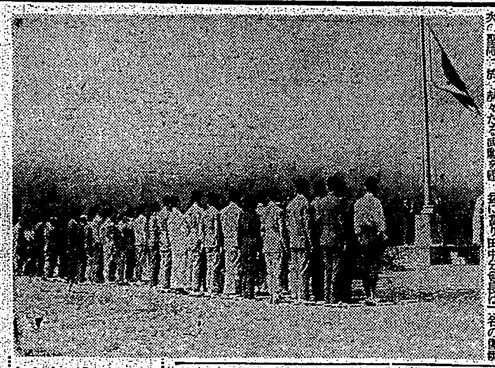
【高雄特電】高雄山岳會新高班では、十四日午後六時高雄駅発列車にて入山した

臺中州農業講習會設會式

【臺中電話】臺中州農業講習會は十四日午前十時から龍井庄に於て開設式を挙行したが当日は州内各地から参加者五十名に対し講師は州農会技師、農事試験場技師、州農業主事、州農会主事等十五名出席した

戰友の靈を弔慰

盂蘭盆に當り傷痍軍人花蓮港分會で



【花蓮港特電】傷痍軍人会花蓮港分会では、先般来会員に対する今次の慰問金募集に努力中であつたが、其の成績良好にて、今般左の通り慰問金を贈ることに決定、去る十五日午前十時より分会長庄司総督を始め多数会員参集の上、盂蘭盆会の当日を卜して慰問金贈呈式を挙行した

一、金参百円也　花蓮港庁
一、金百円也　花蓮港郡役所
一、金百円也　花蓮港街役所
一、金百円也　吉野村役場
一、金百円也　鳳林街役場
一、金百円也　玉里街役場
一、金百円也　瑞穂庄役場
一、金百円也　富里庄役場
一、金百円也　光復庄役場
一、金百円也　豊田庄役場
一、金百円也　林田庄役場
一、金百円也　林田信用組合
一、金百円也　林田産業組合
一、金百円也　林田青年団
一、金百円也　林田婦人会
一、金百円也　林田在郷軍人分会
一、金百円也　林田消防組
一、金百円也　林田実業会
一、金百円也　林田公学校
一、金百円也　林田高等女学校
一、金百円也　林田実科高等女学校
一、金百円也　林田青年訓練所
一、金百円也　林田女子青年訓練所
一、金百円也　林田国語講習所
一、金百円也　林田女子国語講習所
一、金百円也　林田実業補習学校
一、金百円也　林田女子実業補習学校
一、金百円也　林田幼稚園
一、金百円也　林田保育所
一、金百円也　林田託児所
一、金百円也　林田産婆会
一、金百円也　林田看護婦会
一、金百円也　林田医師会
一、金百円也　林田薬剤師会
一、金百円也　林田歯科医師会
一、金百円也　林田獣医師会
一、金百円也　林田写真師会
一、金百円也　林田理髪師会
一、金百円也　林田料理人会
一、金百円也　林田洋服裁縫師会
一、金百円也　林田和服裁縫師会
一、金百円也　林田人力車夫会
一、金百円也　林田自動車運転手会
一、金百円也　林田自転車商会
一、金百円也　林田自転車修理業者会
一、金百円也　林田自動車修理業者会
一、金百円也　林田自動車商